



所在地 横浜市戸塚区東俣野町
建物概要 木造2階建ておよび平屋、
一部RC造地下1階
建築面積 573.8㎡
建築年 昭和14年(1939年)
再建年 平成28年(2016年)
設計・施工 佐藤 秀三
交通 JR戸塚駅からバスで
25分、JR藤沢駅からバスで10分

俣野別邸は、戸塚区東俣野町に位置し、横浜市と藤沢市の市境にあります。西に富士山を望む広大な敷地を有し、東側の旧東海道にアプローチ道路を取付けて正門を構えています。

昭和14年(1939)佐藤秀三設計・施工により建てられました。この邸は、昭和前期のモダニズム影響下におけるハーフティンバー・スタイルを一部に取り入れた和洋折衷住宅建築として評価され、平成16年(2004)に国の重要文化財に指定されました。しかし、平成21年(2009)建物の主要部分が焼失し、重要文化財の指定は解除されました。現在の建物は、横浜市が公園施設として再建したものです。

再建にあたって、公園施設として一部改変・付加等をしてはいますが、部屋の間取りや室内の造作、仕上げ等は、焼失前の写真や図面、資料を参考にして、「昭和29年頃」を基準に再現しています。また、焼失を免れた屋根の瓦、木製建具、照明器具は、修理をして再利用しています。特に、佐藤秀三が一つ一つデザインした照明器具は、建物の見どころになっています。

平成29年(2017)2月に横浜市認定歴史的建造物に認定され、同年4月に一般公開が始まりました。現在は見学、喫茶、貸室利用などができる建物になっています。

(2018年9月現在)

Gallery

写真中 外観(南側)

写真下 居間・食堂

